

## 職工扶助規則

第一條 職工業務上負傷シ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ本規則ニ依リ扶助ヲ爲ス、但シ扶助ヲ受クベキ者民法ニ依リ同一ノ原因ニ付損害賠償ヲ受ケタルトキハ扶助金額ヨリ其ノ金額ヲ控除ス

第二條 職工業務上負傷シ又ハ疾病ニ罹リタルトキハ無料ニテ嘱託醫師ノ診療ヲ受ケンム、但シ當工場ニ於テ必要ト認ムルトキハ適當ノ病院ニ收容シ又ハ他ノ醫師ノ診療ヲ受ケシメ其ノ費用ヲ支拂フモノトス

第三條 職工療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハザルニ因リ賃金ヲ受ケザルトキハ其ノ療養中一日ニ付賃金百分ノ六十以上ノ休業扶助料ヲ支給ス、但シ同一ノ疾病又ハ負傷及之ニ因リ發シタル疾病ニ付其ノ支給百八十日ヲ超エタルトキハ其ノ後ノ支給額ヲ一日ニ付賃金百分ノ四十迄ニ減ス

第四條 職工ノ負傷又ハ疾病治癒シタル時ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スル程度ノ身体障害ヲ存スルトキハ左ニ掲グル區別ニ依リ障害扶助料ヲ支給ス

一、終身自用ヲ辨スルコト能ハザルモノ

賃金 五百四十分以上